



令和7年度 運営指導で印象に残った 良い取組事例

他の施設や事業所ではどのような好事例があるのか、その一部を紹介します

急変時の対応

- 個人ファイルに緊急時の対応方針同意書があり、緊急時対応マニュアルやフロー図とともに分かりやすく保管されている

サービスの質の向上

- 裁縫を生業としていた利用者に、施設内でも見守り下で引き続き裁縫のできる環境を用意し、イベントを通じて販売するなど、本人の能力を活用した日々の機能訓練を行っている
- 利用者ごとに取組んだメニューの記録を作成し、定期的に体力測定し、個別機能訓練評価表も作成し交付することで、本人のモチベーションにつなげている
- キッチンに「今日はどこ行く？」というファイルを用意しており、レクとしてのお出かけに適した施設や飲食店の情報を集めている。どのスタッフでもお出かけの計画が立てやすい仕組み作りをしている
- 褥瘡について、これまでの症例を写真付きで記録し、その後のケアに活用されている
- 汚物処理について、施設および居室内に悪臭が出ないように徹底した清掃を行っている
- 各種研修の担当者を1人に偏ることなく、リーダー以上の役職者で分担することで、個々のスキルアップにも役立てている
- 看取り介護について、ご本人の意向を確認しながら食べたいものを提供するなど、希望をくみ取るかわかりができるよう多職種連携がなされている。ご逝去後には、看取り介護振り返りシートに各職種の意見を集約し、今後の看取りに活かしている
- 小規模多機能型居宅介護計画書に、通い、訪問、宿泊それぞれについて、具体的なケア内容やケアサービス提供時の注意事項等を詳細に記載することにより、どのスタッフがケアにあたって同じ内容でサービス提供ができる体制が整えられている

事故防止のための取組

- 事故防止研修で、職員の困りごとを機能訓練指導員が一問一答で解決し、介護技術向上と事故防止につなげている

- フロア内には多くの訓練器具等がある一方、利用者の動線は広く確保されている
- ポータブルトイレの使用が夜間のみである場合、日中は撤去し、本人の居室内のスペースを確保している
- ヒヤリはっと報告書に、対応者の精神的・身体的状態のセルフチェック欄を設けて、介護状況をふりかえりやすいようにしている
- 手洗い用の石鹸や消毒液をワイヤー固定し、「飲み物ではありません」とイラスト付きで明示することで、認知症等の利用者の誤飲事故を防止している

非常時への備え

- 業務継続計画（自然災害）の訓練について、実際の災害を想定した大規模かつ質の高い訓練で、外部からの見学者の受け入れも行っている
- 1冊の非常災害持ち出し用ファイルに各利用者の情報を集積し、服薬や病状などを定期的に更新することで、有用性の高い持ち出しファイルを維持している

雰囲気づくりや食事提供の工夫

- 食事を施設内で調理し、盛り付け等も美しくされていた。利用者の生活の質を向上させるよい取り組みと感じました。
- 食事メニューを利用者に書いてもらう、など本人らに運営にかかわってもらえる取り組みが伺えました。
- フロアごと、および時間ごとに共用部を様々な用で使用し、入居者が随時移動しながら過ごすようにすることで、単調になりがちな施設生活の中で変化が出るようにしている

家族支援・広報活動など

- 施設報を毎月作成して、個々の利用者の施設内における生活状況を、写真とともにご家族にお知らせしている
- 加算の変更や食事提供の単価など、利用者負担の発生する内容については、十分な説明期間を取ったうえで合意書を取り交わしている

紹介した事例が、日々の運営の参考となれば幸いです

